

01 Web発表

新型コロナウイルス1

- | | | | |
|-----|--|---|---|
| 101 | 新型コロナウイルス感染症のヘルスリテラシーの違いによる対象者セグメンテーション | ○平井 啓
山村 麻予
加藤 舞
三浦 麻子 | 大阪大学
関西福祉科学大学・大阪大学
大阪大学
大阪大学 |
| 102 | 対人環境が子どもの反社会性の変化に及ぼす影響—COVID-19対策の長期自宅待機前後の縦断的検討— | ○吉澤 寛之
松下 光次郎
笹竹 佑太
吉田 琢哉
浅野 良輔 | 岐阜大学
岐阜大学
岐阜大学
岐阜聖徳学園大学
久留米大学 |
| 103 | メディア利用と日本人意識 (4)
世の中の出来事・新型コロナウイルスの情報入手タイプと日本人意識の関係 | ○有馬 明恵
山下 玲子
藤井 達也
志岐 裕子 | 東京女子大学
東京経済大学
武蔵大学
慶應義塾大学 |
| 104 | メディア利用と日本人意識 (5)
新型コロナウイルスについて求める情報タイプと日本人意識の関係 | ○山下 玲子
有馬 明恵
藤井 達也
志岐 裕子 | 東京経済大学
東京女子大学
武蔵大学
慶應義塾大学 |
| 105 | メディア利用と日本人意識 (6)
新型コロナウイルス蔓延による日本人意識の変化の検討 | ○藤井 達也
有馬 明恵
山下 玲子
志岐 裕子 | 武蔵大学
東京女子大学
東京経済大学
慶應義塾大学 |
| 106 | 新型コロナウイルス感染拡大と投票参加
緊急事態宣言は投票率を引き下げたのか？ | ○岡田 陽介 | 拓殖大学 |
| 107 | 感染症脅威が第一子出産希望時期に及ぼす影響 | ○井上 裕珠
沼崎 誠 | 日本大学
東京都立大学 |
| 108 | 新型コロナウイルスの不安と倫理的消費 | ○泉水 清志 | 育英短期大学 |
| 109 | 新型コロナウイルス流行前へのなつかしさとなつかしさ特性
Personal Inventory of Nostalgic Experiences 日本版 (PINE-J) の開発と適用 | ○楠見 孝 | 京都大学 |
| 110 | COVID-19ワクチン接種の促進・阻害要因
第2回緊急事態宣言下におけるデータからの検討 | ○工藤 大介
李 楊 | 東海学院大学
玉川大学 |
| 111 | メディアへの信頼が新型コロナウイルス感染症リスク認知に与える影響 | ○中川 由理 | 京都橘大学 |
| 112 | 新型コロナウイルスへの感染対策の持続的実施とグリットの関係 | ○服部 陽介 | 大手前大学 |

02 Web発表

新型コロナウイルス2

201	マスク着用における利他的動機と主観的幸福感 日誌法調査による検討	○宮崎 弦太 坂本 優香 高橋 楓	東京女子大学 東京女子大学 東京女子大学
202	Cultural differences in adjustment and control during COVID-19	○Raphael Uricher Masataka Nakayama Yukiko Uchida	Kyoto University Kyoto University Kyoto University
203	非人間化傾向と不要不急の外出に対する態度との関連 —一般市民調査による検討—	○新井田 恵美 樋口 収	東洋大学 明治大学
204	新型コロナウイルスパンデミック状況下における感染脆弱意識 —2020年度以前の比較と生活史方略との関係の変化—	○沼崎 誠 中井 彩香 李 禱飛 朴 建映 松崎 圭佑	東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学 帝京大学
205	新型コロナ禍における外出・対人接触の規定因とその変化 文化的自己観と職業に着目して	○辻 竜平	近畿大学
206	新型コロナワクチンの有効性の認知と外国人態度の関係 —行動免疫システムの観点から—	○田戸岡 好香 石井 国雄 樋口 収	高崎経済大学 清泉女学院大学 明治大学
207	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の脅威に伴う感染予防行動と外国人への排斥的態度の変化（2） 2020年1月から2021年3月の12波パネル調査に基づく検討	○山縣 芽生 寺口 司 三浦 麻子	大阪大学 大阪大学 大阪大学
208	感染症症状に対する個人的・関係的幸福の効果 —パンデミック下の日米比較を通して—	○一言 英文	関西学院大学
209	COVID-19パンデミックがもたらす夫婦関係の再評価	○古村 健太郎 金政 祐司 浅野 良輔	弘前大学 追手門学院大学 久留米大学
210	新型コロナウイルス感染者とコロナ禍のリーダーに対する態度に公正世界信念が及ぼす影響	○吉田 綾乃	東北福祉大学
211	チープなシグナルは人間社会でどう普及するか？ 飲食店の新型コロナ対策ステッカー制度を例にとって	○森 隆太郎 亀田 達也	東京大学 東京大学
212	規範遵守行動の成立における他者の行動と選好の推測の影響 COVID-19流行に伴うマスク着用行動に注目して	○渡壁 政仁 仲間 大輔 村本 由紀子	東京大学 東京大学・リクルートマネジメントソリューションズ 東京大学
213	行動免疫は内外集団への態度を予測するか 日本、中国、米国、英国、伊国でのWeb調査から	○平石 界 三浦 麻子 中西 大輔 Andrea Ortolani 三船 恒裕 李 楊	慶應義塾大学 大阪大学 広島修道大学 立教大学 高知工科大学 名古屋大学

03 Web発表

自己

- | | | | |
|-----|--|-------------------------|---|
| 301 | テキストマイニング法による住環境評価基準の分析 | ○澤田 奈々実 | 早稲田大学 |
| 302 | 公募型 Web 調査における特性的自己効力感尺度の妥当性 (1)
—成人対象調査を用いた構造的側面の検討— | ○山田 一成
藤島 喜嗣 | 東洋大学
昭和女子大学 |
| 303 | 公募型 Web 調査における特性的自己効力感尺度の妥当性 (2)
人生満足感ならびにビッグファイブ特性との関連 | ○藤島 喜嗣
山田 一成 | 昭和女子大学
東洋大学 |
| 304 | オタクの趣味開示傾向と学生時代の地位の関連
クラスター分析を用いた検討 | ○田島 綾乃
稲増 一憲 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| 305 | 着装における『なりたい自分・なりたくない自分』
—被服行動と友人関係との関連— | ○乾 眞理子
森下 正修 | 倉敷市立短期大学
京都府立大学 |
| 306 | 2つのセルフモニタリング尺度の比較検討の試み | ○遠藤 健治 | 青山学院大学 |
| 307 | パーソナリティの認知過程 (10)
—パーソナリティ理解と使用根拠との関連— | ○岩熊 史朗 | 駿河台大学 |
| 308 | 過剰適応傾向の高い人々が持つ反応バイアス | ○松本 良恵
加納 啓太
神 信人 | 西南学院大学・玉川大学
淑徳大学
淑徳大学 |
| 309 | グリットを潜在的に測定するST-IAT-Gritの再検査信頼性 | ○稲垣 勉
澤海 崇文
澄川 采加 | 京都外国語大学・教育テスト研究センター (CRET)
流通経済大学・CRET
泉台小学校・CRET |
| 310 | 健康リスク情報が対人的資源の利用可能性認知に及ぼす影響
スマートフォンの過剰使用に関する健康リスク情報を用いた検討 | ○下田 俊介
下田 麻衣 | 東洋大学
立正大学 |

04 Web発表

感情・パーソナリティ

- | | | | |
|-----|---|-----------------------------------|----------------------------------|
| 401 | 意思決定場面における身体知覚変化の測定
—改訂版 APQを用いた主観的身体変化尺度の開発— | ○杉浦 秀一 | 神戸大学 |
| 402 | 子供が仲間はずれにされている際のこころの痛み
母親を対象としたfMRI実験による検証 | ○柳澤 邦昭
中井 隆介
浅野 孝平
阿部 修士 | 神戸大学
京都大学
大阪総合保育大学
京都大学 |
| 403 | パーソナリティ特性とSNS利用がアンチファン心理に及ぼす影響 (1)
重回帰分析による検討 | ○向居 暁 | 県立広島大学 |
| 404 | 自他への思いやりの高い人は人形に刺す針の数が少ない
対人目標, セルフコンパッション, 攻撃性の関連 | ○宮川 裕基
谷口 淳一 | 追手門学院大学
帝塚山大学 |
| 405 | ストレス度別ライフイベントにおけるユーモアコーピングの心理的 Well-being への影響 | ○本郷 亜維子 | 放送大学 |
| 406 | 道徳ジレンマにおけるモラルライセンシング効果の検討 | ○古川 善也 | 広島大学 |
| 407 | 小学校高学年児童の認知する向社会的動機づけ | ○山本 琢俣
上淵 寿 | 早稲田大学・日本学術振興会
早稲田大学 |
| 408 | 思春期世代における向社会行動の特徴 | ○寿 秋露
山田 順子
松田 哲也
高岸 治人 | 玉川大学
玉川大学
玉川大学
玉川大学 |
| 409 | 関係流動性が思春期世代の脳機能・脳構造に与える影響 | ○山田 順子
寿 秋露
松田 哲也
高岸 治人 | 玉川大学
玉川大学
玉川大学
玉川大学 |
| 410 | 歩くことの社会心理学 (1)
散歩と精神的回復力 | ○岡本 卓也 | 信州大学 |

05 Web発表

社会的認知

- | | | | |
|-----|--|---|---|
| 501 | 社会的排斥の目撃は自身が排斥される可能性の知覚を高める | ○津村 健太 | 帝京大学 |
| 502 | 大学生の幸福感を高めることは可能か
ポジティブ単語を用いたプライミングによるアプローチ | ○井原 嘉之
外山 みどり | 東京大学
学習院大学 |
| 503 | Sampling networks for learning networks
A dynamic relational event approach | ○Tasuku Igarashi | Nagoya University |
| 504 | 経済状況が子どもを希望する数に及ぼす影響
一般市民調査の結果 | ○樋口 収
新井田 恵美 | 明治大学
東洋大学 |
| 505 | アジア訛りの英語非母語話者に対するイメージ
—聞き手の違いに注目して— | ○田村 美恵
大阪 未来 | 神戸市外国語大学
(株)星野リゾート |
| 506 | 「自他の重ね合わせ」は脳に表現されているか：
現象学と脳機能イメージングによる学際的検討 | ○本間 祥吾
山縣 豊樹
小川 健二
田口 茂
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学
北海道大学
北海道大学
北海道大学 |
| 507 | 死の脅威が高齢者に対する態度に与える影響の年齢
による違い | ○竹内 真純
片桐 恵子 | 神戸大学・日本学術振興会
神戸大学 |
| 508 | 「運の強い」人は、対人的な「幸運」にも恵まれているのか？
—「幸運のネットワーク仮説」に関する検証— | ○村上 幸史 | 関西国際大学 |
| 509 | 説明内容のもっともらしさが実在性認知に及ぼす影響 | ○菅 さやか
太幡 直也
宮本 聡介 | 慶応義塾大学
愛知学院大学
明治学院大学 |
| 510 | 人工知能の判断が生む差別と不公正認知 | ○谷辺 哲史
唐沢 かおり | 東京大学
東京大学 |
| 511 | インクルーシブ教育に対する一般教諭の有益さ認識に
関する分析 | ○前田 楓
橋本 博文 | 大阪市立大学
大阪市立大学 |

06 Web発表

対人関係1

601	社会的スキルが意見の異なる相手との協調的行動に及ぼす影響	○石川 真	上越教育大学
602	親密性および尊敬感情とユーモア表出形態との関連について —攻撃的ユーモア表出に注目して—	○井上 悟 水野 邦夫	帝塚山大学 帝塚山大学
603	日常生活場面における他者操作方略の影響の再検討 (1) —依頼なし統制条件の設定—	○木川 智美 今城 周造	昭和女子大学 昭和女子大学
604	被援助者人数が援助意図に及ぼす影響	○ハン ショウグン 田中 知恵 藤浪 遼太郎	明治学院大学 明治学院大学 明治学院大学
605	最後通牒ゲームにおける分配行動に第三者の存在が与える影響	○越智 宏朗 小杉 考司	専修大学 専修大学
606	儀礼的感謝行動と対人関係の良好さの認知との関連 社会人を対象とした検討	○渡部 麻美	東洋英和女学院大学
607	愛想というコミュニケーション・スタイル尺度の作成	○伊藤 倫	名古屋大学
608	「一対多」状況での他者理解が正確なのは誰か 社会経済的地位と批判的思考に着目した実験的検討	○中島 健一郎	広島大学
609	リレー小説における感情表現に及ぼすサイコパシー特性とPDゲーム指標の影響	○安念 保昌	愛知みずほ大学
610	保有資源の格差と原因が協力行動に与える影響 —公共財ゲームを用いた検討—	○中井 彩香 沼崎 誠	東京都立大学 東京都立大学
611	ポジティブな「状況」に関する研究 (3) ポジティブな「状況」で行われる行動に関する検討	○堀毛 一也 堀毛 裕子	東洋大学 東北学院大学

07 Web発表

対人関係2

- | | | | |
|-----|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| 701 | 向社会的な嘘が信頼に及ぼす影響
相手との関係性に注目して | ○達 棕介
加藤 樹里 | 金沢工業大学
金沢工業大学 |
| 702 | 患者および家族の視点における望ましい看護師の対応 | ○高井 範子 | 大阪行岡医療大学 |
| 703 | 映像教材を用いた就労適応スキルトレーニング v-ILT-AD の効果性 | ○藤本 学 | 立命館大学 |
| 704 | 援助規範の顕現化は利己的動機の推測を抑制するか (1)
人命救助場面での検討 | ○山本 佳祐
池上 知子 | 大阪市立大学
甲南大学 |
| 705 | 単身者における店員との会話と孤独感の関連の検討
Service Providerとの最小相互作用の役割 | ○稲増 一憲
岡 佑美 | 関西学院大学
(株)東京エレクトロン |
| 706 | ゆるせなさの規定因に関する探索的検討 (1)
—人生における重要度と転機の観点から— | ○沼田 真美
小浜 駿 | 目白大学
宇都宮共和大学 |
| 707 | ゆるせなさの規定因に関する探索的検討 (2)
傷つきを低減する取り組みの構造 | ○小浜 駿
沼田 真美 | 宇都宮共和大学
目白大学 |
| 708 | Test of Nonverbal Cue Knowledge-II (TONCK-II) の
妥当性検討
TONCK, 認知能力, 解読力に関する自己評定との関
連から | ○小川 一美
Judith A. Hall | 愛知淑徳大学
Northeastern University |
| 709 | 送り手の集団成員性が受け手の感情共有や関係性の
知覚に及ぼす影響 | ○田中 知恵
小森 めぐみ | 明治学院大学
淑徳大学 |
| 710 | 絵画における説明文が物語性の知覚に及ぼす影響 | ○福田 怜生 | 学習院大学 |
| 711 | 信頼性判断に及ぼす信頼感と猜疑心の影響の差異
—状況限定的な信頼感と状況に依存しない猜疑心— | ○滝口 雄太
蘇 雨青
山口 雄人
桐生 正幸 | 東洋大学
東洋大学
東洋大学
東洋大学 |
| 712 | 社会的比較と心理的自立との関連
—比較の内容と方向性の観点からの検討— | ○吉田 琢哉 | 岐阜聖徳学園大学 |

08 Web発表

帰属・ステレオタイプ

- | | | | |
|-----|---|--|--------------------------------------|
| 801 | 「あなたが抱く高齢者偏見は、あなたの将来に悪影響をもたらす」
ステレオタイプ・エンボディメント理論を活用した高齢者偏見の軽減 | ○清水 佑輔
橋本 剛明
唐沢 かおり | 東京大学
東洋大学
東京大学 |
| 802 | 競争課題において人工知能に負けたとき、人はどのような原因帰属を行うのか | ○横井 良典
中谷内 一也 | 同志社大学・日本学術振興会
同志社大学 |
| 803 | Dark Triadと孤独感が社会階層の低い人へのスティグマ的態度に及ぼす影響 | ○増井 啓太 | 追手門学院大学 |
| 804 | 一人称視点が自動車交通場面における責任帰属に及ぼす影響 | ○加藤 仁 | 北陸学院大学 |
| 805 | 相補的ステレオタイプの機能
県民性ステレオタイプを用いた研究 | ○佐久間 勲 | 文教大学 |
| 806 | 自己観と精神症状の原因帰属 | ○中山 真孝
畑中 千紘
鈴木 優佳
粉川 尚枝
河合 俊雄 | 京都大学
京都大学
京都大学
京都大学
京都大学 |
| 807 | 障害者に対する潜在的態度・ステレオタイプ | ○柳田 航
村田 光二 | 名古屋大学
成城大学 |
| 808 | 恋人がいない人への否定的な評価は規範からの逸脱によるものか
評価者の伝統志向性と被評価者の意図性に注目して | ○高田 咲季
後藤 崇志 | 滋賀県立大学
滋賀県立大学 |
| 809 | 遺伝子への原因帰属が社会的排斥に与える影響
異質性の認知に着目して | ○苦米地 飛
唐沢 かおり | 東京大学
東京大学 |
| 810 | 身体的魅力がインポスター現象の経験に及ぼす影響 | ○須藤 美佳
石黒 格 | 立教大学
立教大学 |

09 Web発表

態度・信念

- | | | | |
|-----|---|-----------------------------------|--|
| 901 | 正義態度尺度作成の試み | ○北折 充隆
吉武 久美 | 金城学院大学
人間環境大学 |
| 902 | 潜在的スポーツ・運動観の規定因の探索的検討
簡易版潜在連合テストを用いて | ○大橋 恵
澤海 崇文
藤後 悦子
井梅 由美子 | 東京未来大学
流通経済大学
東京未来大学
東京未来大学 |
| 903 | 養育者の成長マインドセットと子への教育投資意図の関
係
どのような子どもの大学進学を支援しようとするのか？ | ○竹橋 洋毅
高 史明
尾崎 由佳
雨宮 有里 | 奈良女子大学
神奈川大学
東洋大学
神奈川大学 |
| 904 | 所得格差に対する多元的正当化と従業上の地位との関
連の検討 | ○川嶋 伸佳 | 神奈川大学 |
| 905 | 2つの日本語版自由意志・決定論信念尺度の心理測
定的特徴の比較 | ○後藤 崇志 | 滋賀県立大学 |
| 906 | 日本におけるRWAとスピリチュアリティの関係 | ○高野 了太
野村 理朗 | 京都大学・日本学術振興会
京都大学 |
| 907 | 情報処理スタイルとホットハンドの誤信の関連 | ○安部 健太 | 帝京大学 |
| 908 | 就業前の行動の意識化は経験学習を促進するか | ○今城 志保
藤村 直子
佐藤 裕子 | (株)リクルートマネジメントソリューションズ
(株)リクルートマネジメントソリューションズ
(株)リクルートマネジメントソリューションズ |
| 909 | 長期的な説得における態度の時系列変化①
—2020年大阪都構想における住民投票を事例とした検
討— | ○中村 早希
稲増 一憲
三浦 麻子 | 帝塚山学院大学
関西学院大学
大阪大学 |
| 910 | 分配の正義への社会的価値関数アプローチ | ○清水 裕士 | 関西学院大学 |

10 Web発表

援助・攻撃

1001	パノイアと危害的意図の推測 先制攻撃ゲームを用いた検討	○堀田 結孝	帝京大学
1002	判決文から探る親密な関係者間暴力の凶悪化要因 判別分析による検討	○常岡 充子 島田 貴仁 高橋 玲央 小川 時洋	科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所
1003	成人期における共感と被害的認知, 関係性攻撃の関 係	○品田 瑞穂	東京学芸大学
1004	日本人に適応的な援助要請スタイルとは 性差とシャイネスの観点を含めて	○橋本 剛 栗林 克匡	静岡大学 北星学園大学
1005	お節介だと批判されても援助して良かったと思える心理 プロセス 思いやり目標と非ゼロサム的な時間の捉え方	○新谷 優 Syamil Yakin	法政大学 オハイオ州立大学
1006	「攻撃」に関するプライミングが自動的な社会的行動に 与える影響 —生態学的要因に注目した検討—	○李 禕飛 沼崎 誠	東京都立大学 東京都立大学
1007	Simulation of the absence of cost enhances perceived helpers' cost.	○古橋 健悟 五十嵐 祐	名古屋大学 名古屋大学
1008	反応的攻撃を予測する数理モデルの検討	○吉富 広之 源 健宏	北海道大学 島根大学
1009	消防職員の被災地ボランティア活動が被災地の復興に 与える影響の探索的検討	○秋本 陽子 松井 豊	東京消防庁 筑波大学
1010	援助提供者との親密さが感謝に及ぼす影響	○森 久美子	関西学院大学

11 Web発表

身近な人間関係

- | | | | |
|------|---|---------------------------------|--|
| 1101 | 愛着不安傾向が身体的攻撃に至るプロセス
一般化可能性の検討 | ○謝 新宇
古川 善也
中島 健一郎 | 広島大学
広島大学
広島大学 |
| 1102 | 最高のパートナーとして選ばれるのは誰か
利益最大化戦略と配偶者選択 | ○石黒 格 | 立教大学 |
| 1103 | 父親の量的関わりが大学生の自尊心に与える影響 | ○玉宮 義之
小貫 胤羽 | 白鷗大学
上越教育大学 |
| 1104 | 社会的閉塞感と両親の夫婦関係が若者の恋愛離れに
及ぼす影響 | ○山下 倫実 | 十文字学園女子大学 |
| 1105 | 同級生との友人関係の形成を支援する新入生プログラ
ム
オンラインツールを用いたグループワークの効果 | ○谷田 林士
嶋田 咲良 | 大正大学 |
| 1106 | サイバーボール課題中の心臓血管反応の検討 | ○伊崎 翼
石井 圭
浅原 亮太
小峰 秀彦 | 産業技術総合研究所
産業技術総合研究所
産業技術総合研究所
産業技術総合研究所 |
| 1107 | 中学生の娘から母親への親密性と制御適合 (2) | ○田淵 恵 | 安田女子大学 |
| 1108 | 恋愛関係破綻後のストーカー的行為を予測する関係性
要因
恋愛関係についての前向き調査から | ○金政 祐司
荒井 崇史 | 追手門学院大学
東北大学 |
| 1109 | 婚活における異性の選別に利用される情報の検討
プロフィール項目といいね獲得数に対する重要度評価
の性差 | ○天野 陽一 | 東京都立大学 |
| 1110 | 母親の養育スタイルと対人特性の関連 | ○橋本 泰央
小塩 真司 | 帝京短期大学
早稲田大学 |

12 Web発表

集団1

- | | | | |
|------|---|-------------------------------------|---|
| 1201 | 集団内における地位と特権意識が集団規範継承志向性に及ぼす影響 | ○尾関 美喜 | 岡山大学 |
| 1202 | 信頼は集団レベルで規範に変化する—地域コミュニティ調査データに対するマルチレベル分析— | ○福島 慎太郎
竹村 幸祐
内田 由紀子
河村 悠太 | 東京女子大学
滋賀大学
京都大学
大阪府立大学 |
| 1203 | ヒト集団サイズの認知的上限としてのダンバー数 Dunbar (1992) の再分析 | ○平島 太郎 | 愛知淑徳大学 |
| 1204 | 集団にとらわれない協力行動がもたらす評判
集団主義者・普遍主義者の評判比較研究 | ○館石 和香葉
橋本 博文
高橋 伸幸 | 北海道大学・日本学術振興会
大阪市立大学
北海道大学 |
| 1205 | 実行機能と自己制御は集団パフォーマンスを予測するか
メンバーのIQを統制した検討 | ○原田 知佳
土屋 耕治
森口 佑介 | 名城大学
南山大学
京都大学 |
| 1206 | 外集団脅威への適応と互惠関係の維持のどちらが重要か?
集団目的に依存する内集団ひいきの心理メカニズム | ○中川 裕美
横田 晋大
中西 大輔 | 東北福祉大学
広島修道大学
広島修道大学 |
| 1207 | メンバーシップの流動性と能力格差が職場の協調に及ぼす影響 | ○仲間 大輔
村本 由紀子 | 東京大学・リクルートマネジメントソリューションズ
東京大学 |
| 1208 | 大学入学前後の複数グループメンバーシップの維持がメンタルヘルスに与える影響
横断的および縦断的影響の検討 | ○後藤 伸彦
三好 智子
藤川 洋子 | 京都ノートルダム女子大学
京都ノートルダム女子大学・京都工芸繊維大学
京都工芸繊維大学 |
| 1209 | 繰り返し社会的ジレンマゲームにおける協力率の推移を説明するモデルの構築 | ○水野 景子
清水 裕士 | 関西学院大学
関西学院大学 |

13 Web発表

集団2

- | | | | |
|------|---|--------------------------|------------------------------|
| 1301 | 自信のないメンバーの投票による多数決の精度の低下 | ○黒田 起吏
高橋 茉優
亀田 達也 | 東京大学・日本学術振興会
東京大学
東京大学 |
| 1302 | 集団間関係における理解知覚の役割に関する間接的
追試
日本人と在日中国人の関係による検討 | ○井奥 智大
綿村 英一郎 | 大阪大学
大阪大学 |
| 1303 | 社会的影響の移動モデル | ○高木 英至 | 埼玉大学 |
| 1304 | 代理報復における集団間三角関係が報復抑制に与える
効果 | ○熊谷 智博 | 法政大学 |
| 1305 | 上司の公正性がチームの心理的安全性およびコミットメ
ントに与える効果
マルチレベル構造方程式モデリングによる検討 | ○繁樹 江里
山口 裕幸 | 青山学院大学
九州大学 |
| 1306 | 発言抑制の多元的無知に関する検討 | ○岩田 和也
鬼頭 美江 | 九州大学
明治学院大学 |
| 1307 | 親同士の友人グループに対する意識の因子構造と呼
称の影響の検討 | ○塚常 健太
大戸 朋子 | 東京都立大学
北陸先端科学技術大学院大学 |
| 1308 | 「みんな」とは何割か
項目反応理論を用いた記述的規範の閾値の推定 | ○尾崎 拓 | 関西福祉科学大学 |
| 1309 | 隠れたプロフィールを見つけ出すための話し合い方と
は？
集団討議場面における情報価への注目の違いが集団
意思決定及び個人選好に与える影響 | ○松村 楓
橋本 博文 | 大阪市立大学
大阪市立大学 |
| 1310 | Best 尺度法による反移民的態度尺度作成と分布推定 | ○柏原 宗一郎
清水 裕士 | 関西学院大学
関西学院大学 |

14 Web発表

社会的交換

- | | | | |
|------|--|------------------------------------|--|
| 1401 | 集団内の仕事分担の理想と現実
非対称ボランティアのジレンマゲームを用いた検討 | ○ターン 有加里ジェシカ
橋本 剛明
唐沢 かおり | 東京大学・日本学術振興会
東洋大学
東京大学 |
| 1402 | 将来世代への利他行動に対する同世代他者からの評価 | ○井上 裕香子
三船 恒裕
西條 辰義 | 高知工科大学
高知工科大学
高知工科大学 |
| 1403 | 格差是正と再分配意思決定に関する実験的検討 | ○高橋 茉優
黒田 起吏
亀田 達也 | 東京大学
東京大学・日本学術振興会
東京大学 |
| 1404 | 多数派同調は協力の進化を促進するか
—2つの規範及び規範内面化形質がもたらす相互作用— | ○貴堂 雄太
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学 |
| 1405 | 速い協力者は遅い協力者よりも好まれるか
協力の意思決定時間と受ける評価の関連の検討 | ○水鳥 翔伍
鎗石 和香葉
一條 航平
高橋 伸幸 | 北海道大学
北海道大学・日本学術振興会
北海道大学
北海道大学 |
| 1406 | アップストリーム互恵性の規定因
搾取という側面からの検討 | ○梅谷 凌平
後藤 晶
岡田 勇
山本 仁志 | 筑波大学
明治大学
創価大学
立正大学 |
| 1407 | 思春期世代の向社会性を支える脳機能・脳構造 | ○高岸 治人
寿 秋露
山田 順子
松田 哲也 | 玉川大学
玉川大学
玉川大学
玉川大学 |
| 1408 | 一回限りの状況における向社会行動の計算過程とその神経基盤 | ○田中 大貴
宮崎 淳
高岸 治人
松田 哲也 | 玉川大学・日本学術振興会
早稲田大学
玉川大学
玉川大学 |
| 1409 | 集団に有益な戦略の文化進化：
文化的集団淘汰の実験的検討 | ○阿部 紗采
土田 修平
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学
北海道大学 |

15 Web発表

インターネット・SNS

- | | | | |
|------|---|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1501 | オンラインで実施した大学生のチームワーク能力を向上させるトレーニングの有効性 | ○太幡 直也 | 愛知学院大学 |
| 1502 | パネルサンプルプロバイダーを利用したWeb調査の回答者の特徴とSatisficingの現状 | ○三浦 麻子
小林 哲郎 | 大阪大学
香港城市大学 |
| 1503 | ドラマ視聴者のTwitter利用の様相
番組に関するリアルタイム・ツイートの分析報告 | ○志岐 裕子 | 慶應義塾大学 |
| 1504 | 高齢者の情報通信技術利用に対するソーシャルサポートの有効性 | ○北村 智 | 東京経済大学 |
| 1505 | 口コミサイト内でのレビュー評価の程度によって記述される内容の違いはあるのか？
—「ダイエットカフェ」の口コミデータを用いた検討— | ○西村 太志 | 広島国際大学 |
| 1506 | SNS上での誹謗・中傷行動に関与する心理要因に関する調査研究 | ○小俣 謙二 | 駿河台大学 |
| 1507 | 自記式調査におけるアイトラッキングによる回答行動の分析
—Web調査用質問画面での多肢選択法の場合— | ○浅川 雅美
岡野 雅雄
林 英夫 | 文教大学
文教大学
(医)豊明会 |
| 1508 | フェイクニュースの警告タグはSNS上においても有効なのか
—一般人を対象とした実験から— | ○陳 晗
竇 雪 | 立命館大学
立命館大学 |
| 1509 | 低年齢の子どものインターネットに対する理解の発達的変化の検討(3)
学齢・性別・インターネットの利用時間とインターネットの存在と仕組みの理解との関連 | ○松尾 由美
田島 祥
鄭 姝
坂元 章 | 江戸川大学
東海大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学 |
| 1510 | 低年齢の子どものインターネット利用に対する保護者の介入行動
積極的介入行動と保護者及び子どもの属性との関連 | ○田島 祥
松尾 由美
鄭 姝
坂元 章 | 東海大学
江戸川大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学 |
| 1511 | SNS上の拒絶・受容状況における安心さがし行動の生起過程の検討
—低自尊心者はどのような状況で安心さがしツイートするのか— | ○長谷川 孝治
古里 由香里
古谷 嘉一郎
佐藤 広英 | 駒澤大学
立教大学
北海学園大学
信州大学 |

16 Web発表

政治・マスコミュニケーション

1601	分配的正義の評価基準にパーソナリティ、社会的態度、感情が及ぼす影響	○平野 浩	学習院大学
1602	社会調査データからみる低所得層の政治参加と自民党支持： JGSS・CSESデータの二次分析による検討	○中越 みずき 稲増 一憲	関西学院大学 関西学院大学
1603	自由を含む道徳基盤と政治的イデオロギーの関連	○藤村 まこと 縄田 健悟 大賀 哲 宮島 健	福岡女学院大学 福岡大学 九州大学 福岡女学院大学
1604	報道における偏向性知覚の影響（1） —メディアシニシズムの誘発—	○李 光鎬 李 津娥 正木 誠子	慶應義塾大学 慶應義塾大学 慶應義塾大学
1605	報道における偏向性知覚の影響（2） —「メディア影響の推定効果」・「第三者効果」との関連—	○正木 誠子 李 光鎬 李 津娥	慶應義塾大学 慶應義塾大学 慶應義塾大学
1606	報道における偏向性知覚の影響（3） —アドボカシー意向の促進—	○李 津娥 李 光鎬 正木 誠子	慶應義塾大学 慶應義塾大学 慶應義塾大学
1607	有権者はどのように政治的有効性感覚を形成するのか 縦断データを用いた内的有効性感覚と外的有効性感覚の相互作用の検証	○岡田 葦生	京都大学
1608	政治参加と内集団・外集団に対する感情温度 感情的極性化の視点から	○小林 哲郎	香港城市大学
1609	CMの登場人物の顔への注目 —購買態度の情緒性による違い—	○岡野 雅雄 浅川 雅美	文教大学 文教大学
1610	若年層の先端科学技術に関する知識、イメージと情報接触メディア	○鈴木 万希枝	東京工科大学
1611	若年層有権者の投票行動を規定する諸要因 間接民主制に対する信頼感は投票行動を規定するか？	○大西 健太 越智 啓太 稲葉 哲郎	一橋大学 法政大学 一橋大学
1612	新聞ラベルによる敵対的メディア認知の検証	○竹本 圭佑	藍野大学

17 Web発表

文化

- | | | | |
|------|---|--|---|
| 1701 | 日本人は何を変えたくないのか
—社会変化の受容に関する国際比較— | ○村山 綾
三浦 麻子 | 近畿大学
大阪大学 |
| 1702 | The Effects of Rice Cultivation Style on People's Psychological Tendencies :
Comparing North and South Vietnam | ○Akari Jin
Masaki Yuki
Thomas Talhelm | Hokkaido University
Hokkaido University
University of Chicago |
| 1703 | 引っ越し経験が人物評価に及ぼす影響
温かさと有能性に着目して | ○方 予辰
布井 雅人
小宮 あすか | 広島大学
椋山女学園大学
広島大学 |
| 1704 | 都市度と主観的幸福感の関連
—全国代表サンプルによる日米比較検討— | ○浅野 良輔
伊藤 健一
一言 英文 | 久留米大学
Nanyang Technological University
関西学院大学 |
| 1705 | 暗黙理論と教育制度における課題変更の困難さが学業パフォーマンスに与える影響 | ○鈴木 啓太
渡邊 万祐子
村本 由紀子 | 東京大学・日本学術振興会
東京大学
東京大学 |
| 1706 | 教育の長さや課題の難易度が累積的文化進化に与える影響 | ○中田 星矢
竹澤 正哲 | 北海道大学・日本学術振興会
北海道大学 |
| 1707 | 文化的自己観を支える安静時機能結合 | ○李 述冰
山田 順子
村山 美穂
高橋 英彦
松田 哲也
高岸 治人 | 玉川大学
玉川大学
京都大学
東京医科歯科大学
玉川大学
玉川大学 |
| 1708 | 「やさしさ」がもたらす印象評価に関する探索的検討
治療的やさしさと予防的やさしさの弁別 | ○山崎 梨花子
橋本 博文 | 安田女子大学
大阪市立大学 |
| 1709 | 対人葛藤における解決方略と目標達成に関する日中比較
大学生の質問紙調査を基に | ○林 萍萍
費 余君
米谷 淳 | 神戸大学
神戸大学 |
| 1710 | ため込みとアニミズム：日米比較研究 | ○石井 敬子
大石 繁宏 | 名古屋大学
ヴァージニア大学 |
| 1711 | 日本人と中国人はおしゃべりでいかに関わるのか？
—日本人学生と中国人留学生による情緒志向的会話の実験的検討— | ○木村 昌紀
毛 新華
小林 知博 | 神戸女学院大学
神戸学院大学
神戸女学院大学 |

18 Web発表

社会問題

1801	セルフコントロールが大学教育に果たす役割 学びの価値とコストから	○安達 未来 安達 啓介	大阪電気通信大学 神戸学院大学
1802	誰がなぜ苦情・クレームを訴えるのか カスタマーハラスメントの実態把握と行為者の類型化の 試み	○池内 裕美	関西大学
1803	なぜ被体罰経験者は体罰を容認するのか 被体罰経験に対する感謝感情に焦点を当てた検討	○久保 昂大 杉山 佳生	九州大学 九州大学
1804	チャリティショップにおける不用品寄付とリユース品購入 の個人的規範の規定因	○前田 洋枝 渡邊 聡	南山大学 愛知淑徳大学
1805	地域共同体における景観的な特徴と住民意識との対応 の検討 Google Street View 画像と社会調査を用いて	○打田 篤彦 伊勢 武史 箕浦 有希久 一言 英文 竹村 幸祐 内田 由紀子	京都大学 京都大学 佛教大学 関西学院大学 滋賀大学 京都大学
1806	目の写真による監視が不正の抑制に及ぼす影響	○前田 洋光 平田 葉月	京都橘大学 京都橘大学
1807	寄付行動の世代差に関する検討	○中島 誠	名古屋学院大学
1808	移動パターンによる移住者の地域選択要因と適応度の 比較	○加藤 潤三 前村 奈央佳	立命館大学 神戸市外国語大学
1809	「移動志向性」の測定と国内移動パターンによる比較	○前村 奈央佳 加藤 潤三	神戸市外国語大学 立命館大学
1810	社会問題としての「いじめ」とその変質 新聞記事分析からみた揺らぎと2010年代の変化	○ハッ塚 一郎	熊本大学

19 Web発表

ジェンダー・ダイバーシティ

- | | | | |
|------|--|--|--|
| 1901 | 運動/スポーツ場面におけるロボットジェンダー選好
ジェンダー平等志向との関連 | ○鈴木 公啓
野村 竜也 | 東京未来大学
龍谷大学 |
| 1902 | テレビ視聴と性差別意識との関係
メディア表現のダイバーシティと態度 (1) | ○麻生 奈央子
渋谷 明子
大坪 寛子
坂元 章
祥雲 暁代
大倉 韻
林 志修 | お茶の水女子大学
成城大学
慶応義塾大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学
東京医科歯科大学
獨協大学 |
| 1903 | 性的マイノリティに対する態度とテレビでの間接接触との関係
メディア表現のダイバーシティと態度 (2) | ○大坪 寛子
渋谷 明子
麻生 奈央子
坂元 章
祥雲 暁代
大倉 韻
林 志修 | 慶應義塾大学
成城大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学
東京医科歯科大学
獨協大学 |
| 1904 | ドラマやアニメへの接触と外国出身者への態度
メディア表現のダイバーシティと態度 (3) | ○渋谷 明子
大坪 寛子
麻生 奈央子
祥雲 暁代
坂元 章
大倉 韻
林 志修 | 成城大学
慶應義塾大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学
お茶の水女子大学
東京医科歯科大学
獨協大学 |
| 1905 | 道徳基盤理論に基づいた選択的夫婦別姓制度への態度分析
Twitter投稿の計量テキスト分析 | ○樋口 浩一 | 放送大学 |
| 1906 | 日本語版 Career Aspiration Scale-Revised (J-CASR)
の作成 | ○川原 瞳
橋本 剛明
唐沢 かおり | 東京大学
東洋大学
東京大学 |
| 1907 | 自己モノ化が潜在的自己ステレオタイプ化に及ぼす影響
—IATを用いたジェンダーステレオタイプ化の検討— | ○朴 建映
沼崎 誠 | 東京都立大学
東京都立大学 |
| 1908 | FTMとMTFに対するイメージ尺度の開発 | ○陳 曦
守谷 順
脇田 貴文 | 関西大学
関西大学
関西大学 |
| 1909 | リーダー経験の結果の原因帰属とリーダーシップ自己
効力感との関連の検討 | ○山口 彩菜
坂田 桐子 | 広島大学
広島大学 |
| 1910 | ピンクと青に関する潜在的ジェンダー・ステレオタイプ
の検討 | ○石井 国雄
田戸岡 好香 | 清泉女学院大学
高崎経済大学 |
| 1911 | キャラの性別とレイヤーの意識 | ○渡邊 寛
石川 莉緒
本多ハワード 素子 | 昭和女子大学
昭和女子大学
昭和女子大学 |

- 1912 リーダーのジェンダーと行動がリーダー評価に与える影 〇藤浪 遼太郎 明治学院大学
響 田中 知恵 明治学院大学
— 広告刺激を用いた実験的検討 —

20 Web発表

安全・防災

- | | | | |
|------|--|---|---|
| 2001 | 分散避難が避難行動に及ぼす影響
—避難所の快適性に着目して— | ○元吉 忠寛 | 関西大学 |
| 2002 | モバイル利用のライフスタイル・アプローチ I
災害情報の取得方法 経年変化について | ○近藤 勢津子
水野 一成
鮑戸 弘 | NTTドコモ モバイル社会研究所
NTTドコモ モバイル社会研究所
東京大学 |
| 2003 | モバイル利用のライフスタイル・アプローチ II
—取得方法別に見る特性について— | ○水野 一成
近藤 勢津子
鮑戸 弘 | NTTドコモ モバイル社会研究所
NTTドコモ モバイル社会研究所
東京大学 |
| 2004 | 接触確認アプリ（COCOA）の利用を規定する要因の
検討 | ○高木 彩
武田 美亜
小森 めぐみ | 千葉工業大学
青山学院大学
淑徳大学 |
| 2005 | 原発に対する関心や効力感が死の顕現化とリスク認知
の関係に及ぼす影響 | ○辻川 典文 | 神戸親和女子大学 |
| 2006 | 東日本大震災後における対策選好に対する道徳観と放
射線リスク認知の役割 | ○志賀 美喜子
小林 智之
竹林 由武
保高 徹生
村上 道夫 | 福島県立医科大学
福島県立医科大学
福島県立医科大学
産業技術総合研究所
福島県立医科大学 |
| 2007 | 安心は対策を風化させるか？
滋賀県の火災・消防統計の時系列分析 | ○竹村 幸祐
清水 裕士
畑中 美穂 | 滋賀大学
関西学院大学
名城大学 |
| 2008 | ポジティブな強みに注目した防災教育の実践（5）
改訂版防災強みカルタによる大学での教育実践 | ○豊沢 純子
竹橋 洋毅
島井 哲志 | 大阪教育大学
奈良女子大学
関西福祉科学大学 |
| 2009 | 放射線リスクに関する情報発信と受け手の理解 | ○小杉 素子
桑垣 玲子
土屋 智子 | 静岡大学
(一財) 電力中央研究所
(一社) 複合リスク学際研究・協働ネットワーク |